

5.大学等に対するアンケート結果

	地域との連携		共同研究		果たすべき役割	課題	
	基本的な考え方	域内の資源活用	実績	事業化例			
八戸大学	地方公共団体との協働が必要	研究活動を行うために不可欠	八戸市と共同研究実績あり	海のNPO立ち上げ 観光NPO研究会発足	蓄積した知識の還元	地域企業等の意識向上	
北里大学水産学部	教育 研究活動に必須	研究活動推進には漁業者の協力が必須	岩手県水産技術センターと共同研究実績あり		基礎研究に基盤を置いており 応用研究に発展させ事業化するの は企業の役割	企業側の知的財産や技術の蓄積	地域企業と研究機関の橋渡しをする公的機関が必要
国際教養大学	地域社会への貢献を設立目的の1つとしている	教員の研究活動等において、地域の課題解決新たな地域創造を主な目標に掲げている			地域振興に向けた産学官連携推進	共通目的を明確化できる体制の整備	
青森県立保健大学	県費により運営されているため、地域との連携は最重要課題	研究領域により異なる	高齢者・障害者に使いやすい椅子の開発等を実施中	ガマス果実搾汁残渣から生活習慣病に効果のあるサプリメント生産	地域貢献、地域活性化への貢献は重要	保健 医療 福祉関連の企業が少ない	

研究機関に対するアンケート結果

	研究テーマ設定		研究実績の公開				役割		課題
	地域ニーズの把握	域内の資源活用	成果の活用	公開方法	事業化支援体制	共同研究	事業化例	果たすべき役割	
青森県工業総合研究センター	県内中小企業との技術相談、技術指導を通じてニーズを把握	農林水産資源の高付加価値化、有効活用等を意識		報告書の作成 ホームページ活用	技術相談への対応		りんごの携帯型光糖度計測装置 飲料の商品化	県内中小企業の育成	事業化を支援できる専任部署の設置
青森県水産総合研究センター増養殖研究所	漁業者や漁協からの要望等を踏まえて研究を実施	市場占有度が高くかつ商品価値が高い種を最重要資源と位置づけ		報告書の作成 ホームページ活用		大学、企業等と研究実績あり	ヒラメ栽培漁業 ホタテガイ栽培漁業	新たな地域特産品開発に向けた魚介類の栽培漁業化や養殖手法の開発	貝殻などの食品以外への応用等では、企業との共同研究の可能性あり
青森県農林総合研究センター	農林業団体等を対象に研究テーマに対する要望調査を実施	県の産業発達への寄与が最優先されるので、県内資源活用を意識している		資料の作成 商談会等での公開	技術相談への対応		間伐材を活用した植物育成用基盤	県の産業発展に寄与する新品種育成、新商品開発、新技術開発	関係機関と目的を共有しながら十分連携すること
青森県水産総合研究センター内水面研究所		食品としての利活用に目を向けている	対象とする漁協等に直接指導	報告書の作成 ホームページ活用		小川原湖のシジミ資源管理対策を、八戸高専、三重大学、小川原湖漁協等と研究中	サケの孵化放流 ヒメマス養殖 ニジマス養殖	高品質・高付加価値の養殖鱒類の新品種作出	
岩手県工業技術センター	県内企業の企業訪問、技術相談を通じて把握	大学 企業シーズも含めた域内の資源を活用している	共同研究、技術支援(テクノブリッジ、相談)等で普及	報告書、ホームページ、成果発表会	成果の活用と同じ	企業、大学等と研究実績あり	冷麺、金属とプラスチックの直接接着、離型性金属	産業振興と県政課題解決のための研究開発と技術支援	研究成果の事業化促進
国際超電導産業技術センター		大学、企業の人的資源に期待	地域コンソーシアム研究開発事業等を通じて新規事業創生に取り組んでいる	報告書の作成	技術情報交換により事業化に向けた問題解決を図っている	岩手大学、岩手県工業技術センター、企業等と研究実績あり		新規事業のシーズ提供	事業化促進のための資金を含めた支援制度、人的交流活発化が必要
東北農業研究センター	農家、企業、大学等を集めた東北農業テーブルリサーチ実施によりニーズを把握			研究成果発表会開催 イベントへの出展 ホームページ活用	研究面からの情報提供、指導助言	大学、企業等と研究実績あり	小麦、大豆の新品種育成	産学官連携研究の中核としての貢献	広く農家、企業、大学等から情報収集 提供、意見交換が可能となる連絡協働体制の組織的整備
森林総合研究所東北支所	研究課題は本所(つくば市)中心に設定	木材加工部門の研究者がいないため、資源活用を意識した研究テーマは少ない		機関誌の発行		他の研究機関と研究実績あり			
岩手県内水面水産技術センター	県民の要望を集約して策定される県の行政施策に基づき試験研究を実施	域内資源の活用が前提	対象とする漁協等に直接指導	報告書の作成 ホームページ活用		東北大学、北里大学とサケ科魚類の性統御につき研究中	イワナの種苗生産 養殖 ニジマス・イワナの採卵時期調節		
岩手県林業技術センター	県庁関係課、県出先機関等と調整	行政機関が研究要望を行う際に配慮	行政において必要なものは考慮	報告書の作成 ホームページ活用	行政機関が対応	木材加工企業、岩手県工業技術センター等と共同研究実施	難燃化木材の製品化		
岩手県農業研究センター	各地域の農業改良普及センター等を通じて把握			報告書の作成 ホームページ活用 セミナー開催	農業改良普及センターが生産者に対して技術支援を行う	国の独立行政法人等との共同研究は多いが、民間企業との共同研究は少ない	稲やりんご、肉食牛などのオリジナル品種の普及	農業振興のための新技術開発・普及と安全で安心な食料の安定供給への貢献	
岩手県生物学研究センター	県内の他の研究機関からの要望に対応している	県の産業振興を目的に設立されているため、地域資源の活用を最優先に考えている				県の他の研究機関との共同研究が中心	花き新品種(スターチス)普及 日本酒用酵母		異分野間の情報交流や連携を推進できる体制整備
岩手県水産技術センター	直接対話	資源データは全て把握 漁民の経験知見も活用	地域特性を踏まえ、個別に対応	情報誌の発行 ホームページ活用	研究員による相談指導 水産改良普及員による技術移転	学術的な研究が中心	サケの孵化放流 生ワカメの冷凍技術 アワビ、ウニ等の種苗栽培	県益を維持するための域内漁業資源の一層の管理と生産性維持	研究特化は生産現場との乖離をもたらす、何も利益がない
東京大学海洋研究所国際沿岸海洋研究センター	地方自治体、漁協等と情報交換し、地域のニーズを把握	三陸沿岸の生物資源、海象・気象をテーマにしている	県などの研究機関との共同研究を通じて地域に提供	報告書の作成	特になし	岩手県等と研究実施		新事業創出のシーズ開拓	事業化立案に対する基金制度創設や、事業化案件に対する評価、資金援助、事業経営等に関する専門機関を県中心に立ち上げ
秋田県総合食品研究所	業界代表者を委員とする研究推進懇話会開催等により把握	域内の資源活用を県施策として位置づけている		研究成果発表会開催 機関誌の発行 ホームページ活用	研究会や協議会を設立 補助事業等を紹介	地域企業等と研究実施	秋田酒こまち、こまち酵母を開発し、秋田県産大吟醸酒発売開始	中小企業の多い企業の研究開発力や技術開発力を支援	責任支援部署の明確化
秋田県農業試験場	農業関係機関、農業団体等にアンケート実施		作る「農業から売れる農業」へのシフトを支援	研究成果発表会開催	技術実証部門による技術移転や普及指導	酒造組合、秋田県総合食品研究所等と研究実施	枝豆収穫機		産業界、研究機関相互の問題の理解可能なコーディネーターの確保・育成とコーディネート機能強化
秋田県立大学木材高度加工研究所	研究所に付置している財団法人秋田県木材加工推進機構を通じて把握	全面的に意識している		財団法人秋田県木材加工推進機構を通じて公開 季刊誌の発行	財団法人秋田県木材加工推進機構を通じた技術移転 技術相談	秋田大学、国土交通省等と研究実施	樹皮ボード	技術開発並びに産学官連携における中核研究機関としての貢献	行政機関内の部署を越えた連携
秋田県畜産試験場	関連団体等から意見を徴取	研究テーマの基本	研究成果の農家での実用化を前提に研究している	報告書の作成			比内地鶏の作出、飼養管理技術の普及確立	時代が要求する経営技術の高度化等への対応	消費者のニーズに対応した研究課題への取り組み